

三菱電機ナビゲーションシステム
■ NR-HZ001/MZ10/MZ50 無印対応
ステアリングリモコンキット
ホンダ車用

取り付け解説書

Galleyra

安全に正しくお使いいただくために

- 取り付け作業の前にこの「取り付け解説書」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
- この「取り付け解説書」の表示では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示をしています。その表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- 本製品は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの DC24V 車では使用しないでください。火災や故障の原因となります。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる事故の原因となります。
- 車両に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、電気配線、タンク、ワイヤーなどの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意しておこなってください。パイプ類などの損傷により、火災や事故の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、制御不能や発火、事故の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグの動作を妨げる位置には絶対に本製品を取り付けたり配線をしないでください。エアバッグの動作を妨げる位置に取り付け・配線をすると、万一のとき、事故やケガの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくこと事故の原因となります。
- 本製品を分解したり改造したりしないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 正常に動作しない状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変なにおいがするなどの異常がおきた場合は、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因となります。
- ドリルなどで穴あけ作業をする場合は、ゴーグルなどの目を保護するものを使用してください。破片などが目に入ったりしてケガや失明の原因となります。
- 接続コード類の配線は高温部を避けて行ってください。コード類の被服が溶けてショートし、事故・火災・感電の原因となります。特にエンジンルーム内での配線には注意してください。



注意

- 車両のネジを使用して本製品の取り付けやアースをとる場合は、ネジがゆるまないように確実に締めつけてください。ネジがゆるみ、事故や故障の原因となります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこり、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本製品に水やほこり、油煙が入り込みますと、発煙や発火、故障の原因となります。
- 直射日光や、ヒーターの熱風があたる場所などへの取り付けは避けてください。本製品の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。
- 取り付け解説書に記載された通りに配線を接続してください。正規の接続を行わないと、火災や故障の原因となります。
- エアバッグ装着車に取り付けるときは、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動し、ケガや事故の原因となります。
- 車両のネジ部分やシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や火災、感電の原因となります。

もくじ

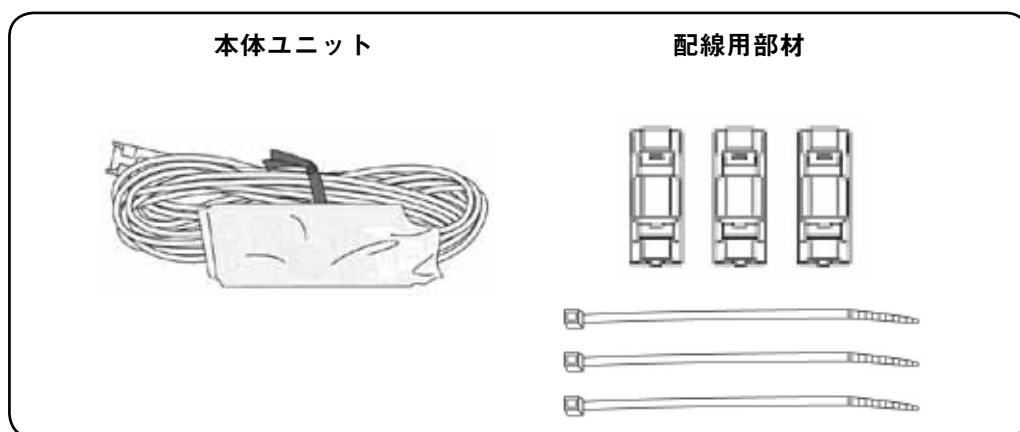
はじめに	4
梱包内容	4
各配線の説明	4
動作について	5
取り付けできる車両、カーナビ	5
取り付けに関する注意事項	5
取り付け方法	6
24 極コネクタの場合の取り付け方法	7
20 極コネクタの場合の取り付け方法	8
17 極 +32 極コネクタの場合の取り付け方法	9
カーナビ側への配線の接続	10
トラブルシューティング	11

はじめに

このたびは当社製品を御買い上げ頂きまことにありがとうございました。製品は全機能をテストした後に出荷させて頂いておりますが、万一不良品でありました場合は速やかに代替品と交換させていただきますので、ご購入いただきました販売店へご連絡ください。但し、お客様の過失による破損と判断した場合は修理費と送料を頂戴することがありますのでご了承願います。なお、製品保証については保証書に記載の内容となります

梱包内容

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 本体ユニット | 1台 |
| 2. 取り付け解説書（本解説書） | 1部 |
| 3. 保証書（取り付け解説書に記載） | 1部 |
| 4. 配線用部材（ワンタッチコネクタなど） | 数個（製品により異なります） |



各配線の説明

ユニット本体からは7本の配線が出ています。使用している電線はAWG22（約0.33SQ相当）ですので、添付品以外のワンタッチコネクタや配線接続用部材を使用する場合は適合電線をよくご確認ください。

- | | |
|---|-----------------------|
| 黒 | (-) GND（車両アース） |
| 赤 | (+) +12V アクセサリ電源 |
| 黄 | (+) ステアリングスイッチ入力 |
| 桃 | 未使用 |
| 茶 | (-) ステアリングスイッチ GND 出力 |
| 水 | (-) カーナビ用コントロール出力 |

動作について

- ◇本ユニットを取り付けると、ステアリングスイッチでカーナビを安全に操作できるようになります。
- ◇ステアリングスイッチはMODE、VOL+、VOL-、SEEK+、SEEK- の5ボタンがお使いいただけます。

MEMO

- ナビの種類により、ステアリングスイッチの全ボタンが使用できない場合がありますが、正常です。

取り付けできる車両、カーナビ

- ステアリングスイッチ付きのホンダ車で、ステアリングスイッチに他の機器の配線が接続されていない事

※後付けでスイッチを取り付けた場合は、一部車種を除いて対応不可です。

※対応できない車種もありますので、適合表で確認してください。

- 三菱カーナビ NR-HZ001 シリーズ、NR-MZ10、NR-MZ50

※ NR-MZ50N、NR-MZ60、NR-HZ700 シリーズ、NR-HZ750 シリーズにはお使いいただけません。

取り付けに関する注意事項

● ユニットの取り付けは電気知識のある方が行ってください。取り付けに問題があると車両火災や損傷を招く恐れがありますので十分注意して取り付けてください。取り付けの際は事前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。当製品を取り付けることにより発生した損害に関して当社は一切責任を負いません。

● 本品はカーAVシステム制御専用です。その他の機器の制御に使用しないでください。

取り付け方法

ユニットの配線のうち「茶・黄・赤・黒」を車両へ接続し、水色線又はミニプラグをカーナビ・カーオーディオへ接続します。

※桃線は未接続としてください。

※ホンダ車の場合はカーナビ・カーオーディオ裏まで来ている純正配線に接続します。

※車種により、一部ステアリングスイッチの表示と実際に動作する機能が異なる場合があります。

※ステアリングスイッチは「ソース切り替え」「音量上げる」「音量下げる」「チャンネル送る」「チャンネル戻す」の5機能が使用できます。

1. カーナビ／カーオーディオを取り外す

カーナビ・カーオーディオを取り外します。通常は4本程度のビスで固定されており、簡単に外す事が出来るようになっています。

2. 車両側配線を接続する

本ユニットの配線を接続します。次ページ以降を参照して適切に接続を行ってください。

3. カーナビのコネクタへ端子を差し込む

カーナビのメインハーネスを外し、本製品の水色線を差し込みます。詳しい作業方法は「カーナビ側への配線接続」ページを参照してください。

MEMO

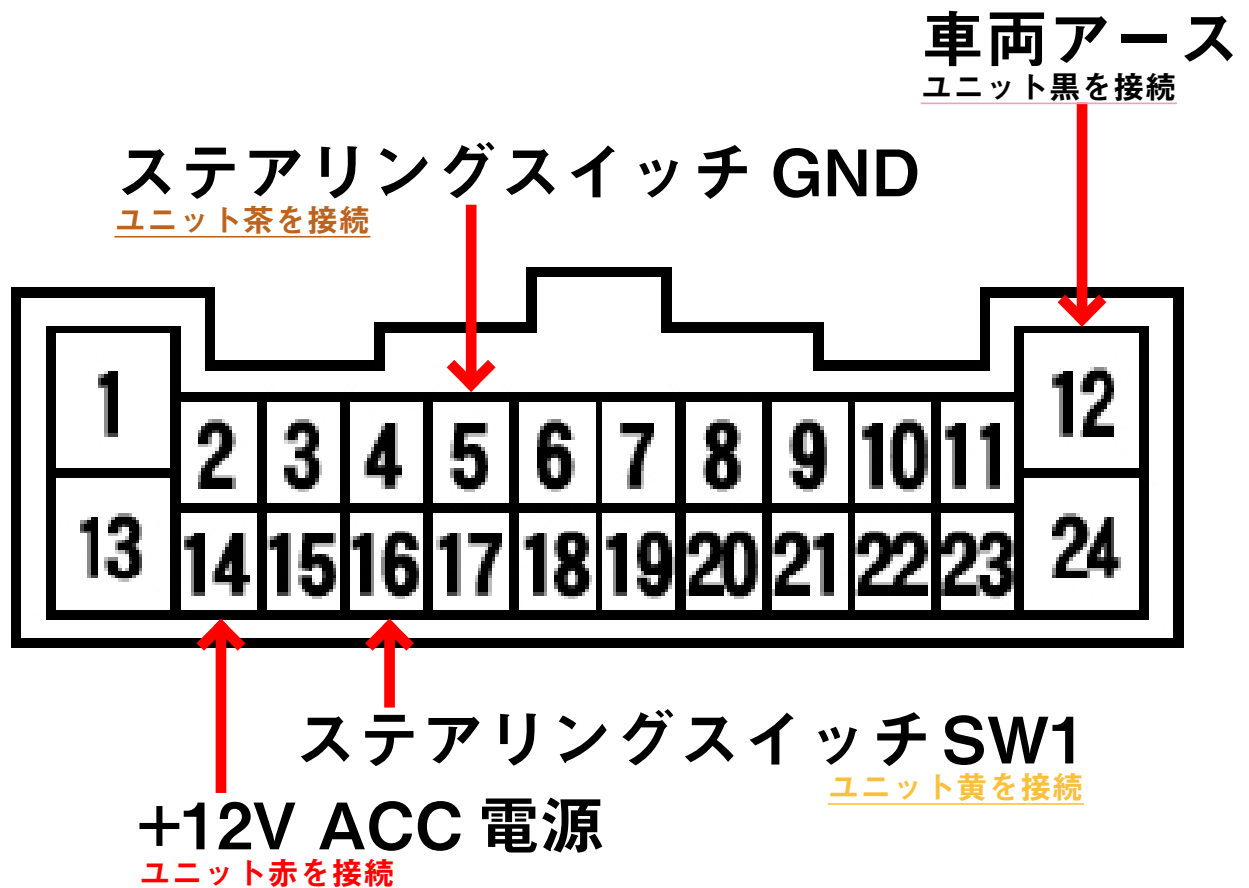
※本製品は設定作業は不要です。

取り付け方法

車両の純正オーディオハーネスが「20極」の場合と、「24極」の場合、「17極+32極」の場合で結線先が異なります。該当するページを参照の上、確実に取り付けを行ってください。

ホンダ車 24 極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが24極のホンダ車では下記の様に接続します。



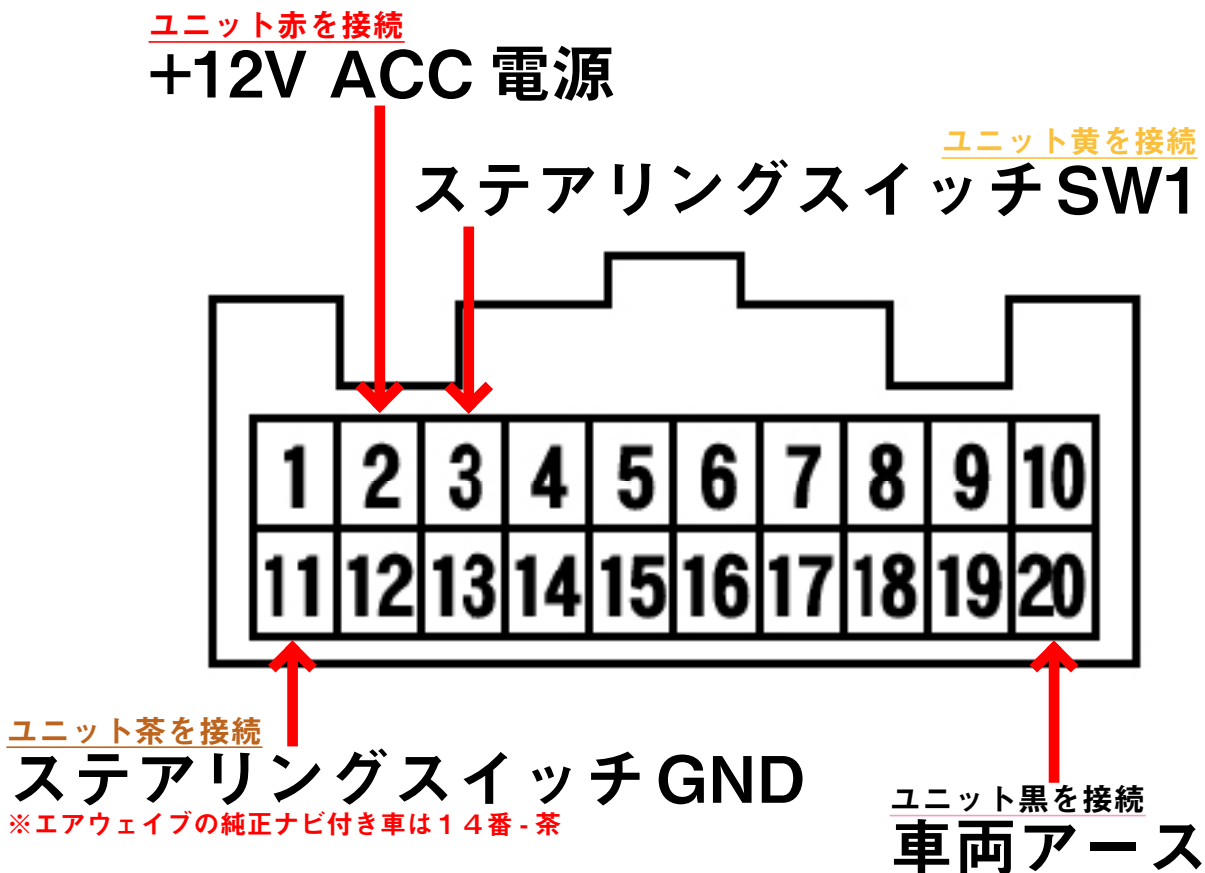
※図は24極コネクタを配線が出ている側から見た図です

MEMO

- ※上記はオーディオコネクタを配線が出ている側から見た図です。
- ※ACC電源にピン位置を基準にして位置を特定してください。
- ※本ユニットの桃線は未使用です。どこにも接続せず、絶縁処理してください。

ホンダ車 20極コネクタピン配置図

■オーディオコネクタが20極のホンダ車では下記の様に接続します。



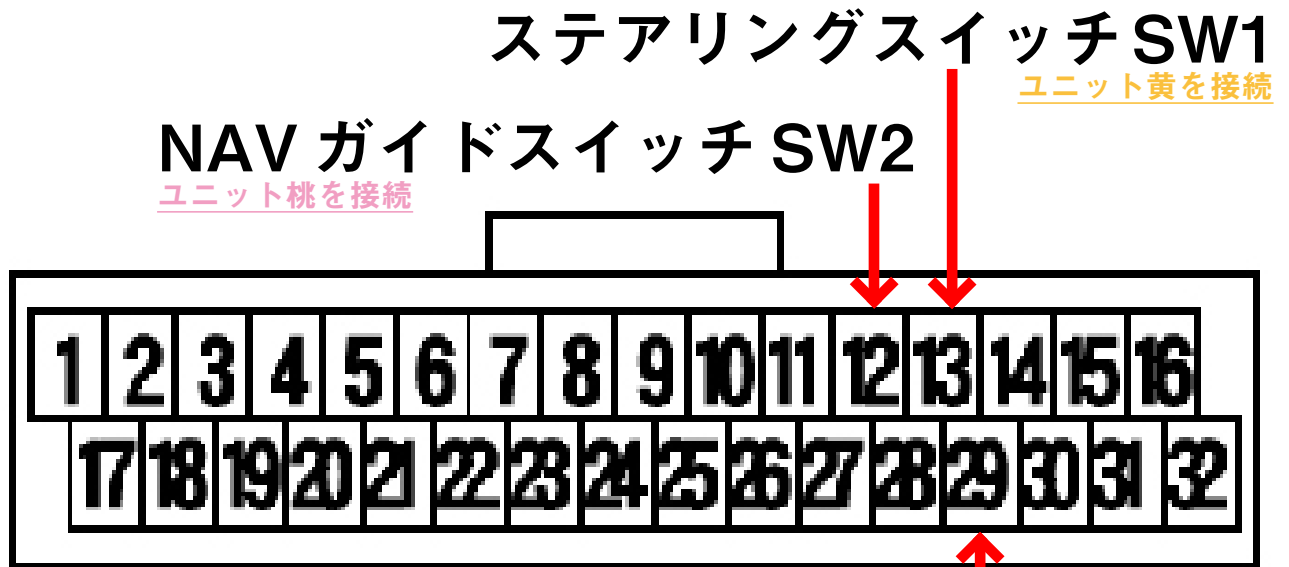
※図は20極コネクタを配線が出ている側から見た図です

MEMO

- ※上記はオーディオコネクタを配線が出ている側から見た図です。
- ※ACC電源にピン位置を基準にして位置を特定してください。
- ※本ユニットの桃線は未使用です。どこにも接続せず、絶縁処理してください。

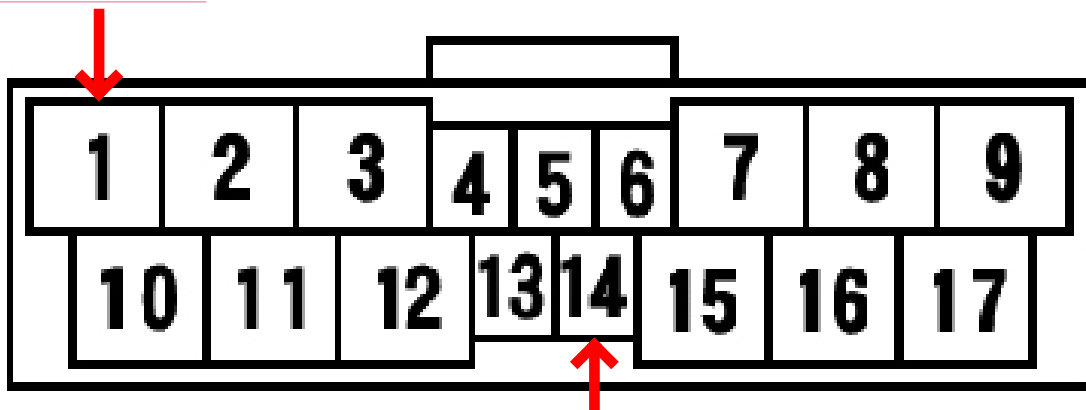
ホンダ車 17 極、32 極コネクタ図（純正ナビ装着車の一部）

■オーディオコネクタが 17 極 +32 極のホンダ車では下記の様に接続します。



ステアリングスイッチ GND
ユニット茶を接続

車両アース
ユニット黒を接続



+12V ACC 電源
ユニット赤を接続

※図はコネクタを配線が出ている側から見た図です

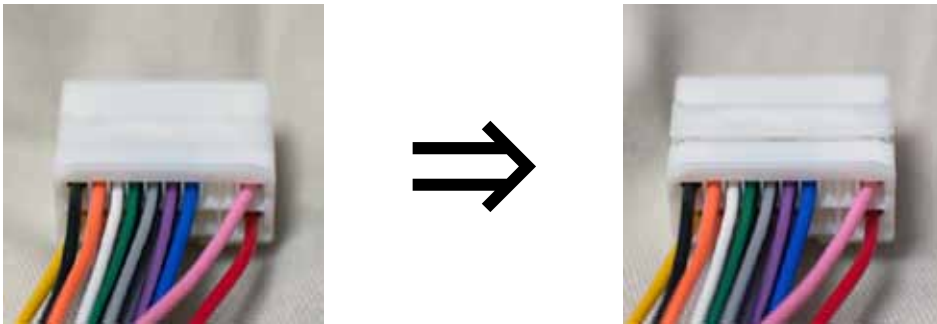
MEMO

- ※上記はオーディオコネクタを配線が出ている側から見た図です。
- ※ACC電源にピン位置を基準にして位置を特定してください。
- ※車両により異なる可能性がありますので、確認しながら接続を行ってください。

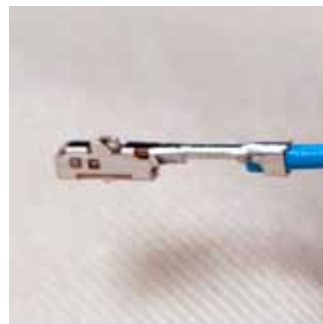
カーナビ側への配線の接続

■ユニットの水色線は、カーナビのメインコネクタへ差し込みます。

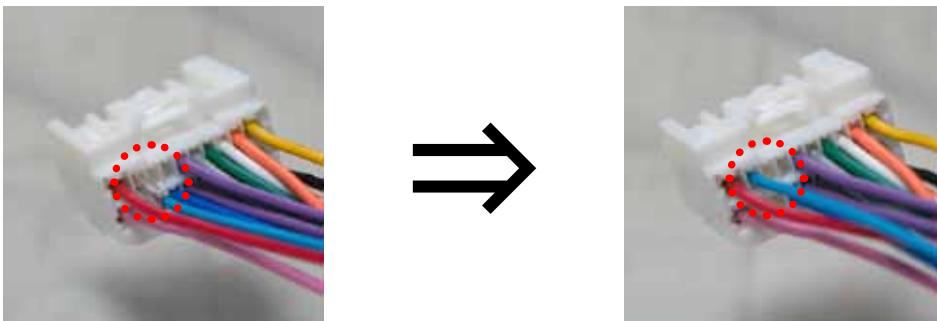
1. コネクタの裏側にある「リテーナ」を画像のように少し浮かせます。



2. 端子には向きがあります。右側写真の向きにして差し込みます。



3. 上の列の左から2番目（赤の隣）へ端子を確実に差し込みます。



4. リテーナを元通り押し込みます。



MEMO

※リテーナを浮かさないで端子が挿入できません。

※端子は一度差し込むとロックされて抜くことができなくなりますので、差し込む位置を間違えない様にしてください。

トラブルシューティング

■ACCをONにしたときに赤・緑色LEDが点滅・点灯しない

電源線（赤、黒）の接続を確認してください。アース（黒線）をカーナビのボデー部で接続している場合は、カーナビの金具を固定しないとアースされない場合がありますので確認します。

■ACCをONにしたときに緑色LEDが点滅⇒点灯と変化する

ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。桃線は必ず未接続とし、絶縁処理してください。

■ステアリングスイッチが作動しない

1. ステアリングスイッチを押すと緑色LEDが点灯する場合は、カーナビ側の端子が正しい位置に差し込まれている事を確認します。
2. ステアリングスイッチを押しても緑色LEDが点灯しない場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。
3. ステアリングスイッチを押していなくても緑色LEDが点灯している場合は、ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。桃線は必ず未接続とし、絶縁処理してください。

■カーナビが勝手に作動する

ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。桃線は必ず未接続とし、絶縁処理してください。

■本ユニットを接続すると、カーナビが操作できなくなる

ステアリングスイッチ入力線（茶、黄）の接続を確認してください。桃線は必ず未接続とし、絶縁処理してください。

本書はお買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合に、次に記載する内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

<無料保証規定>

1. 正常な使用状態にも関わらず発生した故障は無料修理させていただきます。
2. 製品の故障による次の損害は保証の対象外となります。
 - ・製品の故障により発生した作業工賃や災害
3. 保証期間内でも次の場合は有償修理とさせていただきます。
 - ・使用上の誤りや、不当な修理／改造による故障・損傷
 - ・火災・水害・落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害などによる故障・損傷
 - ・本書の添付がない場合、及び本書にお買い上げ店とお買い上げ日の記入がない場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本書は再発行致しません

品番	GAP-HCVD12	
保証期間	お買い上げ日から 3 年間	
お買い上げ日	※納品書が購入証明となりますので、本書と一緒に大切に保管してください。	
お客様	ご住所	_____
	お名前	_____ 様
	電話 ()	_____
販売店	住所・店名	_____
	電話 ()	_____

株式会社 ガレイラ

<http://www.galleyra.co.jp>

〒 545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南 3 丁目 7-11 電話 06-6131-6300